

2012年10月29日  
富士ゼロックス株式会社

医療現場を支えるヘルスケアソリューションを強化

## 紙や電子の多様な診療記録を統合管理するソフトウェア 「Apeos PEMaster ProRecord Medical 1.1」発売

病院経営の課題解決に貢献

富士フイルムグループの富士ゼロックス株式会社(東京都港区、代表取締役社長：山本 忠人)は、医療現場で発生する紙や電子のあらゆる診療記録の統合管理を可能にするソフトウェア「Apeos PEMaster ProRecord Medical 1.1 (アペオス ピーイーマスター プロレコード メディカル 1.1)」を10月29日から発売します。

本ソフトウェアは、ドキュメントをベースとした診療記録管理のコンセプト「Document Archiving and Communication System(通称 DACS)※」を実現する「[診療記録統合管理ソリューション](#)」のプラットフォームソフトウェアです。病院内に散在する多種多様な診療記録を汎用的なドキュメント形式で統合管理し、患者の全診療履歴を迅速に確認したり関係者で共有したいという医療現場のニーズに応えるとともに、記録管理業務の生産性向上や説明責任への対応など、病院経営の課題解決に貢献します。

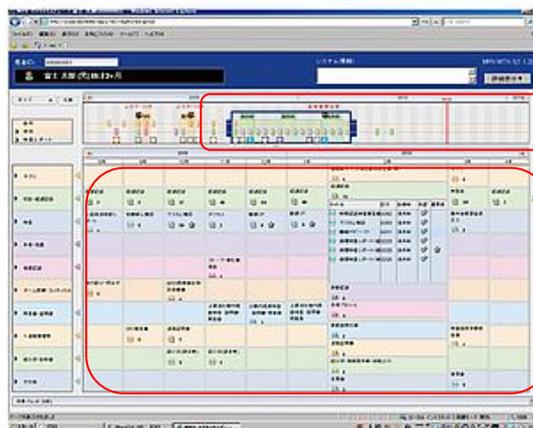
「Apeos PEMaster ProRecord Medical 1.1」は、前バージョン(「Apeos PEMaster ProRecord Medical 1.0」)をご導入いただいた病院からのご意見、ご要望を反映し、大量な診療記録を処理する際のスピードを改善したほか、下記の機能を新たに提供いたします。

### 1. 病院のニーズに合わせて個別に提供していた3種類のビューワーを標準で提供

「マトリックスビュー」は、患者がどの診療科を受診し、どのような治療や手術を受け、その後の検査や容態がどうなっているかなどの全診療履歴を時系列で見ることができます。

「ツリービュー」は、診療科別、日付別、文書種別など、目的の文書をツリー構造に沿ってすばやく紹介状や報告書などを検索できます。「フォーカスビュー」は、診療記録と検査レポートを見比べたり、退院時サマリーを見ながら詳細レポートを確認するなど、複数の文書を並べて確認することができます。従来はこれらのビューワーをお客様との個別契約で提供していましたが、本バージョンから標準で提供いたします。

#### マトリックスビュー



→患者の診療履歴を時系列表示

→上記で選択した期間に発生した診療記録を一覧表示

## 2. DocuWorks、PDF、どちらの形式でも原本性確保が可能に

当社独自の「仮想プリンタ」技術で、電子カルテや各検査システムなどの記録をドキュメント形式で保存する際、DocuWorks 文書での保存に加え、病院のニーズに合わせて PDF 文書での保存が可能になりました。いずれの保存形式を選択した場合も厚生労働省のガイドラインに示された電子保存に関する要件を満たした状態で記録を長期間安全に保存し、閲覧できます。

※ Document Archiving and Communication System：媒体によらず、システムの種類によらず、患者に関する全ての文書情報を統合的に収集管理し、永続的に閲覧可能とするシステムを構築し「ここになければどこにもない」の実現を目指す。大阪大学医学部附属病院医療情報部が提唱するコンセプト

### ■標準価格

| 施設規模       | 300 床クラス     | 600 床クラス     | 1000 床クラス    |
|------------|--------------|--------------|--------------|
| 利用料金(税別)   |              |              |              |
| 使用許諾料金*    | 14,000,000 円 | 20,000,000 円 | 25,000,000 円 |
| 保守料金(1 年間) | 2,100,000 円  | 3,000,000 円  | 3,750,000 円  |

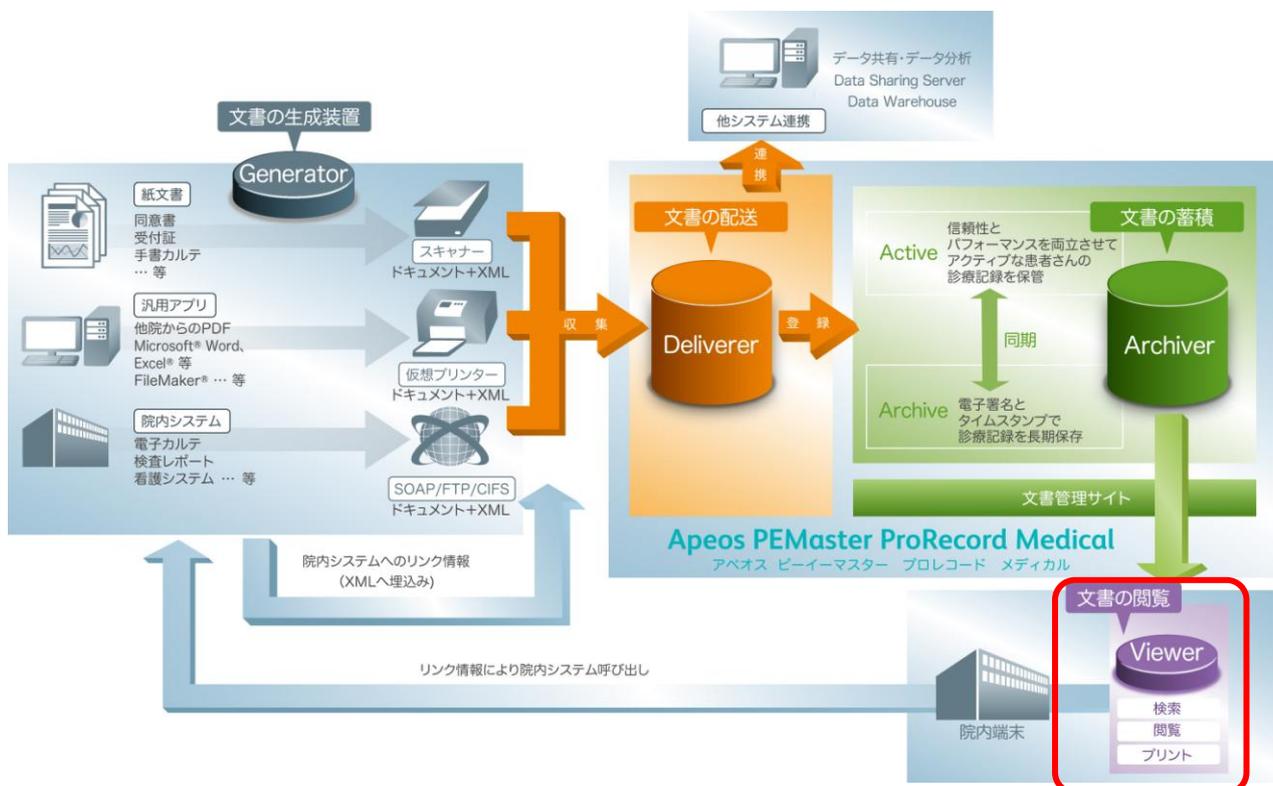
※ 別途ハードウェア、コンサルティング、システム構築費用がかかります(別途見積り)

本商品は新規システム提供となります。既存システムからの移行（バージョンアップ）に関しては別途ご相談となります。

### ■販売目標

年間 50 件

### ■「診療記録統合管理ソリューション」全体概要 および「Apeos PEMaster ProRecord Medical 1.1」の提供範囲



本バージョンで新たに提供する機能